

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年9月2日 (2010.9.2)

【公開番号】特開2009-23949(P2009-23949A)

【公開日】平成21年2月5日 (2009.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-005

【出願番号】特願2007-188727(P2007-188727)

【国際特許分類】

C 0 7 D 239/62 (2006.01)

C 0 9 B 23/00 (2006.01)

C 0 9 B 69/04 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 239/62 C S P

C 0 9 B 23/00 L

C 0 9 B 69/04

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月15日 (2010.7.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

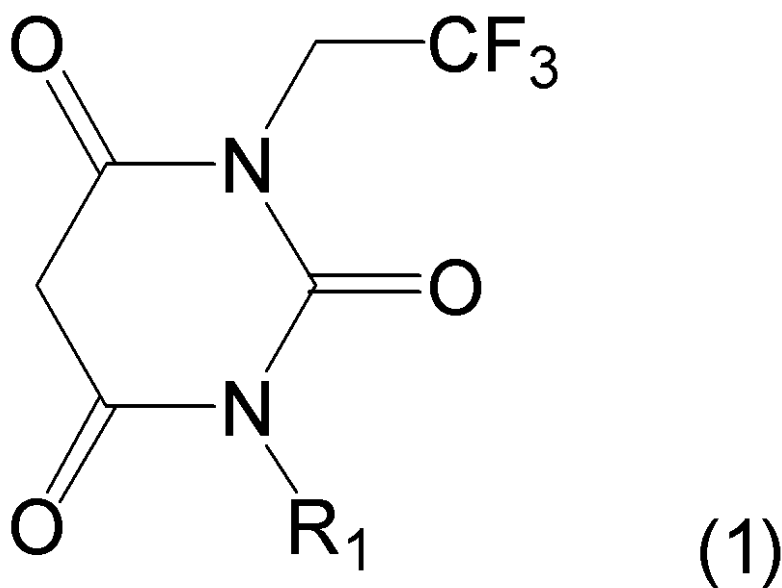
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記一般式 (1) で表されるバルビツール酸化合物。

【化 1】



(式 (1) 中、 R_1 は水素原子、置換又は無置換のアルキル基、置換又は無置換のフェニル基を表す。)

【請求項 2】

R_1 が水素原子、置換又は無置換の総炭素数 1 ~ 12 のアルキル基、置換又は無置換の

総炭素数 6 ～ 12 のフェニル基である請求項 1 記載のバルビツール酸化合物。

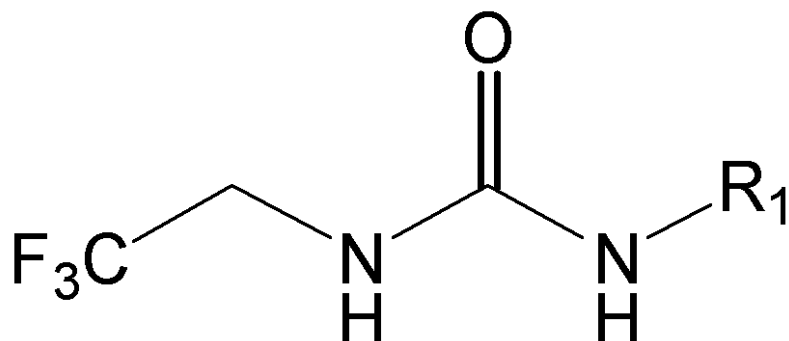
【請求項 3】

R_1 が水素原子又は炭素数 1 ～ 6 のフルオロ置換アルキル基である請求項 2 記載のバルビツール酸化合物。

【請求項 4】

下記一般式 (2) の化合物：

【化 2】

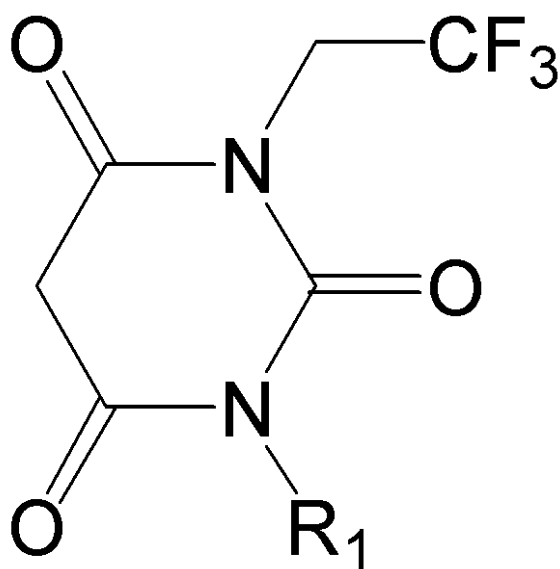


(2)

(式 (2) 中、 R_1 は水素原子、置換又は無置換のアルキル基、置換又は無置換のフェニル基を表す。) と、

マロン酸またはマロン酸ジエチルとを反応させて、下記一般式 (1) の化合物を得る、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のバルビツール酸化合物の製造方法：

【化 3】



(1)

(式 (1) 中、 R_1 は水素原子、置換又は無置換のアルキル基、置換又は無置換のフェニル基を表す)。